

藤久保地域拠点施設整備等事業に関する説明会

日時：令和5年11月18日（土曜日） 18時00分～19時45分

場所：藤久保小学校体育館

参加者：47名

説明者：三芳町役場施設マネジメント課

株式会社石本建築事務所設計業務責任者

説明内容：【説明資料をもとに説明】

1. 前回説明会の内容振り返り

- ・説明概要の紹介
- ・町ホームページの紹介
- ・質問応答の説明

2. 平面プランの説明

- ・PFI事業における設計のポイント
- ・全体計画（配置、外構など）
- ・小学校の計画（平面プラン、特徴、工夫）
- ・屋内運動場（体育館）の計画（平面プラン、特徴、工夫）
- ・複合公共施設の計画（平面プラン、特徴、工夫）
- ・今後の設計の進め方

3. 今後の事業スケジュール

意見交換・質問応答：ご質問、ご意見などについて、下記のとおり回答いたしました。

質問・意見	回答
新施設を楽しみにしている。複合公共施設内のコワーキングスペースについてどのような利用者層を想定しているのか。また、ネットワーク整備にはどのようなになっているのか。	利用者層の想定はまだ確定していません。子育て支援の機能がある公共施設であるため、子連れの方が利用しやすい設えということは実施していきます。ネットワークについて、コワーキングは館内Wi-Fiとは別に専用のものを整備いたします。
小学校の階段教室は特徴的だが、子供が使う上で事故防止等についてどのように考えているか。	設計者において、複数の階段教室を設計した事例があるが、事故等の話は報告されていません。階段は木質材料

	<p>を使い、衝撃を緩和するなどしています。</p>
<p>(子育て支援ゾーン) 集会室において、ガラス張りで死角がないことはメリットであるが、子供たちはものを投げたりするので、危なくないよう配慮をしてほしい。</p>	<p>ご意見として承りました。</p>
<p>施設全般において、中高生の居場所が少ないのではないか。中高生の居場所をどのように確保しているか教えて欲しい。</p>	<p>まずは、コミュニティスペースについて、対象を絞らず、どなたでも利用できるようにしています。この後、家具などを選定し、居場所作りをいたします。図書館においても、グループ学習室という部屋を設置します。中高生が複数で会話をしながら学習をするという用途に使っていただけるのではと考えています。図書館イベント室についても、イベントがないときは読書室として活用できる他、接続する読書テラスなども複数人で少し会話をしながら過ごせる場所として利用を想定しています。図書館としてもYAコーナーを設置するなどしています。新しい施設なので、中高生を含む利用者に使ってもらいながら、居場所を見つけてもらえるようにしていきたいと考えています。</p>
<p>コワーキングスペースについて、子育て世代の利用も見込んでいるとのことであったが、保育サービスは考えているのか。</p>	<p>現段階で保育サービスまで検討はしておらず、例えば子連れのまま利用しやすいコワーキングスペースなどを想定しています。</p>
<p>多目的ホールの広さは今と比べて広くなるのか。</p>	<p>多目的ホールのホール面は現在のホールと同程度です。</p>

<p>現在の藤久保公民館の諸室に比べて、新施設では広さはどうか。また、無くなった部屋はあるのか。</p>	<p>個々の広さはまだ確定していませんが、現在の公民館と同等以上を確保するようにしています。また、今ある部屋（スペース）がなくなるような計画とはなっていません。</p>
<p>新しい小学校へ子供が通学する。小学校と他の施設が複合化されることにより、不審者が小学校へ侵入するリスクが心配である。</p>	<p>リスクについては、いくつかの観点があります。一つは複合化により発生する不特定多数が利用する公共施設側から学校側への侵入リスクです。これについては学校と複合公共施設の接点には必ずセキュリティがコントロールできる扉等が設置されており、きちんと管理ができる設計となっています。次は学校開放により、放課後に校舎の一部を地域の方が利用することにより生じるリスクです。これについては、学校開放エリアへの入り口は児童の入り口と別にすることにより、開放エリア外（児童しか使わないゾーン）へ侵入することが無いように計画することでコントロールします。最後は、複合化とは関係なく、他の学校でも生じるリスクですが、学校の敷地外から内部へ侵入するリスクです。このことについては、フェンスにより一般的な侵入防止を図る他、校門に電気錠を設置するなど、レベルアップしたものを整備します。施設としては他の学校よりも高レベルなセキュリティを整備します。運用については使いながら学校、児童、保護者、地域の方などの関係者が話し合いながら決めていくことが望ましいと考えています。</p>

<p>施設全体のセキュリティについて、防犯カメラの設置は計画されているか。</p>	<p>出入口や外周部を中心に防犯カメラの設置を行います。</p>
<p>駐車場予定地の隣接地に住んでおり、植栽の管理や騒音などについて町のホームページから問い合わせをしたが、その後どのように考えているか。</p>	<p>詳細な設計はこれからですが、駐車場騒音についてはアイドリングストップの周知徹底や前向き駐車などで対策を行いたいと考えています。防音パネルの設置なども検討をしていますが、風通しや景観の悪化が想定されるため、周辺部の植栽などで距離をとり、環境対策を行うことを計画しています。</p>
<p>ワークショップについて評価をしている。その前に、既存の施設別に意見交換会のようなものやってみてはどうか。</p>	<p>本日まで説明している平面プランをはじめとした施設計画については、町が示した要求水準書に基づいて設計されたものとなっています。町ではこの要求水準書の作成にあたり、地域住民、利用者、職員などと様々な機会、手法で意見交換を実施しており、現在の計画にも地域住民や利用者などの意見が反映されていることはご理解ください。そのうえで、より細かい使い勝手などについては、ワークショップなどで改めてご意見を伺おうと思っていますところですが、施設別の意見交換会についてはご意見として承り、各施設の職員と協議をさせていただきます。</p>
<p>小学校はオープンタイプの教室であるが、メリットはあるもののデメリットとして騒音や感染症の対策がしづらいことがあげられるので、よく検討をして欲しい。</p>	<p>現在はセミオープンタイプにて設計を進めております。開放時の騒音などについては引き続き検討をさせていただきます。</p>

<p>メディアブリッジについて、児童への教育的効果より建物をつなぐことが目的のように感じる。</p>	<p>学校の図書室と町の図書館が接することにより、学ぶ児童にどのような教育効果を提供できるか、設計者、町職員、教職員で継続的に検討をしていきます。資料につきまして、雰囲気は伝わるように書架等を仮に配置したものですので、意図が伝わりづらいものとなっております申し訳ございませんでした。</p>
<p>図書室、図書館が明るい雰囲気であるのは良いと思うが、本の日焼け対策などは何か考えているか。</p>	<p>紫外線カットのガラスを利用するほか、建物の工夫による日焼け防止を図ります。</p>
<p>小学校について、デザインは素晴らしいがデザイン重視になって使い勝手が悪くならないようにしてほしい。</p>	<p>使い勝手については十分配慮して設計を進めていきます。</p>
<p>子供を工事中の学校に通わせる。工事中の騒音対策について現段階でわかっているものだけでも教えてほしい。</p>	<p>工事騒音を軽減するために防音パネルを設置します。また、大きな騒音が発生する解体工事については、教室に近い側の壁を最後に解体することにより大きく騒音を下げる工法を採用いたします。事業者は都市部での工事実績が多く、十分なノウハウがあると考えていますので、児童の学習環境に配慮した施工を行いたいと考えています。</p>
<p>校庭代替地について、少し距離があるが行き帰りの安全対策や教員の支援についてはどのように考えているか。</p>	<p>校庭代替地の使い方などについては、教育委員会で検討を進めており、改めてご案内いたします。</p>

<p>学校開放について、理科室や工作室に設置されている学校備品を地域の住民に使ってもらうことを想定しているのか。</p>	<p>学校開放においては、先行事例では児童用備品を利用する事例、利用しない事例がある状況です。藤久保地域拠点施設の学校開放では学校備品を利用しない想定で計画を進めています。学校開放用の備品は小学校1階ふれあいラウンジ横に備品庫を設けており、ここから取り出して利用してもらうこととなります。町では初めての試みですので、利用者や学校で協議をしながら進めていきたいと考えています。なお、調理台などの什器については学校開放でも利用することを考えています。</p>
<p>小学校の校庭について、日当たり、霜対策についてどのように考えているか。</p>	<p>日照については校庭が真北ではなく南西側であるため、確保はできます。校舎にごく近い部分では日陰となる時間が多くなるため、霜対策と併せてゴムチップ舗装とするなど、安全性と使い勝手に配慮した計画を考えています。</p>
<p>藤久保学童保育室は児童の数が多いと聞いている。現在の計画においてこれは考慮されているのか。また、今後、児童の数が増えた場合の対策は考えているのか。</p>	<p>藤久保学童保育室へ通う児童数が多いことは把握しています。学童保育室に関しては登録児童数と登所率の関係があり、この部分について学童保育室と一緒に計画を進め、現在の学童保育の状況に合わせた設計となっています。今後、急激に児童数が増えた場合については、隣接するふれあいラウンジを保育室に転用するなど、計画において考慮しています。</p>
<p>小学校にエレベーターは設置されるのか。</p>	<p>設置いたします。</p>

<p>複合公共施設に飲食スペースはあるのか。</p>	<p>飲食専用のスペースというのは計画していませんが、コミュニティスペースなどは飲食を想定した仕上げを計画しており、今後、家具の選定などにおいても念頭において進めていきます。</p>
<p>オープンスペースが多く開放的なつくりであるが、火災時などの避難に問題がないか、また、空調などが効かないことはないか。</p>	<p>避難経路については東西部分に避難階段を配置し、安全に避難ができるようになっています。空調については、教室の可動間仕切りを活用しながら効率的に運用していきます。建物としても ZEB-Ready という省エネルギー性能の認定を取得する予定となっており、効果的な空調に寄与するものと考えています。</p>
<p>音楽室が現在の 2 室に対して 1 室となっているが、授業が重複したりしないか。</p>	<p>計画段階より学校と協議を進めており、重複しないようなカリキュラムを検討できるとのことでした。授業内容にもよりますが、オープンスペースや階段教室などを活用しながら授業を行えるような設えとしていきます。</p>
<p>学校から保護者説明会の案内があったが、いつ開催予定か。校庭代替地については、どのような利用を想定しているか、また、そこまでの行き帰りについて安全は確保されているのか。</p>	<p>本日は、参加者の対象を絞らない全体の説明会としております、小学校に関するものも説明しておりますが、別途、学校でも保護者説明会の開催を検討していることもあるかも知れませんが、そちらは学校にお問い合わせいただければと思います。校庭代替地につきましても、場所と進捗状況はご説明させていただきましたが、使い方、特にカリキュラムの内容につきましては整備側としてはご説明が難しいため、学校にお問い合わせいただければと思います。</p>

<p>学童保育室が校庭に面していないが、校庭で遊ぶことについて動線は確保されているのか。</p>	<p>学童保育室から校庭への動線は確保しています。</p>
<p>郵政宿舎跡地の工事について、解体工事期間は関係車両の通行が非常に多かった。工事が重複する場合の対策を検討しているのか。</p>	<p>郵政宿舎跡地の整備工事については、民間企業による整備であるうえ、現時点で明確な動きがあるわけではないので詳細把握はしていませんが、仮に本事業と施工が重複する場合は関係車両の通行などにおける協議は実施していきます。本事業については、通勤通学時間帯のコアタイムについては工事車両の通行を行わないこととしています。</p>
<p>藤久保小学校では（インフルエンザ等による）学級閉鎖が続いている。工事中は換気などが難しくなると思うが、空気清浄機の設置を検討してはどうか。</p>	<p>工事期間中においても、作業は毎日同じではないためどうしてもほこりが出てしまう作業日については時間を決めて換気を行うなどの対応を考えています。</p>
<p>藤久保小学校には大きな木が植樹されており、日陰としても活用されている。大きな木は残して整備をして欲しい。</p>	<p>既存樹木については活用も含めて検討をしていますが、敷地東側の樹木については歩道を整備する関係で伐採となります。それ以外の既存樹木も老木であり落枝による事故などの恐れもこれから増大していくと想定されるため慎重な検討が必要です。整備においても新しく植樹を考えていますので、新しい施設、新しい樹木が地域と共に育っていく環境も大切であると考えています。</p>
<p>地域の方の自転車利用が想定されるが、駐輪場についてはどのように考えているか。</p>	<p>駐輪場は施設東側に駐輪場を整備します。イベント時などは、小学校の駐輪場や広場空間の一部などを駐輪場として利用するなど対応をしていきます。</p>

<p>魅力的な施設で、施設利用者が増えると思うのでなるべく多くの駐車場を確保して欲しい。</p>	<p>ご意見として承りました。</p>
<p>小学校の火災時の避難経路について、1階で火災があった場合どのように外に避難ができるのか。</p>	<p>避難経路については関係法令により「二方向避難」が義務付けられており、合致する施設となります。例えば、1階の職員室で火災が起きた場合は反対側の階段を使って避難し、火災の規模により昇降口や体育館側の出入口などを利用して避難します。法令上の避難ではなく、実態として、仮に1階のフロアが全面的に火災となった場合などにおいては、今回の計画では外部テラス空間を多く配置しており、校舎1階に降りなくても、テラス経由で広場や複合公共施設側へ避難ができるため、避難経路については充足しているものと考えています。</p>
<p>防犯カメラについては、小学校には設置の記載があるが、複合公共施設には無い。複合公共施設にも設置されるのか。また、監視カメラのモニタリングや管理はどのようにしていくのか。</p>	<p>複合公共施設についても出入口や共用部を中心に設置をする計画となっています。映像の管理については学校のカメらは学校で、複合公共施設のカメらは複合公共施設で行うことを考えていますが、相互に見えた方がより安全ではないかという部分もありますので、学校などと検討を進めていきます。また、モニタリングについては悲鳴やガラスの割れる音などを感知する製品などもあるので、採用も含めて検討をしていきます。</p>

<p>学校のトイレが少なく感じるが大丈夫か。</p>	<p>基本設計において、2学年でトイレを利用することへの懸念は、町担当者も持っており、事業者及び設計者とも協議を実施しています。先行事例も複数あるということで、そちらの状況確認なども実施しながら検討していきたいと考えています。トイレの基数が減少することについては、現在の藤久保小学校は、校舎の増築を繰り返した関係でトイレの基数が他の小学校と比べても非常に多い状況となっています。新施設ではこれと比べると少なくはなっていますが、基数の基準などを満足しており、先行事例などの確認を行いながら決定していきます。</p>
<p>学校の広場側のエリアについて、広場は不特定多数の人が入ってこれるので、授業中の規制などについて検討して欲しい。</p>	<p>学校と十分協議をしながら検討をしていきます。現在の藤久保小学校も地域にかなり開かれた雰囲気もあるため、その良さなどをスポイルしないようにしていきたいと考えています。</p>
<p>藤久保小学校4年生の保護者として、コロナ禍で入学式などが実施できないなど、学校イベントが制限される中で過ごしてきた。これからという時に工事により校庭が使えないなどの制限を受けることになるので、工事については配慮を求める。また、卒業式については何とかこの体育館で実施したい。</p>	<p>体育館については、新しい体育館を建設、供用してから現在の体育館を解体する計画となっており、体育館が無くなる期間はありません。また、現在4年生の児童においては現在の体育館で卒業式を実施できます。工事期間に在校される児童への負担が少なくなるように施工計画を考えていきます。</p>
<p>鎌倉通り側の横断歩道は、信号が赤なのに気が付かずに通過する車両がいるなど危険である。鎌倉通りとみらい通りの交差点は右折信号が無く赤</p>	<p>ご意見として承りました。整備事業の担当者として回答させていただきますと、まず、工事用ゲートについては誘導員を配置して事故防止を図り</p>

<p>信号となってから右折する車が非常に多い、危ないので改善して欲しい。</p>	<p>ます。また、工事車両の通行については、運転者などの入場者については新規入場者教育を実施するため、その際に付近の危険個所などを周知し、工事関係車両の事故が起きないように徹底していきたいと考えています。</p>
<p>既存建築物のアスベスト調査は実施済みであるか。アスベストの除去工事は適切にやって欲しい。</p>	<p>既存建築物は公共施設であるため、一定の調査は行っています。そこで判明しているアスベストについては法令に基づいて処理をします。また、解体工事に先立ち、改めて調査を実施して、いずれも法令に基づいた処理を行うようにいたします。</p>